※令和４年度以降入学生用

学校番号	２０１

令和５年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	コミュニケーション英語Ⅰ	3	1	教科書：BLUE MARBLE English Communication Ⅰ 副教材：BLUE MARBLE English Communication Ⅰナビゲーションノート

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・英語コミュニケーションⅠの授業は、「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと（やり取り、発表）」、「書くこと」という４技能５領域の力をつける授業です。しっかり、インプット（「聞く」「読む」）して、アウトプット（「話す」「書く」）をするよう心がけてください。
・英語の語彙、文法、文構造について、しっかりと意識しながら英文を理解しましょう。

２ 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第１学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと（やり取り）	話すこと（発表）	書くこと
学習到達目標	◇身近な話題や社会的なトピックについてゆっくりはっきりと話されれば具体的な情報を聞き取ることができる。 ◇物の制作など一連の行動の順序について、ゆっくりはっきりと指示されれば理解することができる。	◇社会的な話題などの英文を読み、適宜辞書も利用しながら事実関係を把握することができる。 ◇簡単な英語で表現されていれば、ガイドブックやメール、パンフレットなどを読んで必要な情報を見つけ出すことができる。	◆◇興味や関心のある社会的な話題に関して、相手の意見を踏まえながら、簡単な語や表現を使って、意見交換（賛成か反対か、どう思っているかなど）をすることができる。	◆自分のことや社会的なトピックついて簡単な紹介や説明を求められても、適切に応答することができる。	◇◆身近な話題や社会的なトピックに関して読んだり聞いたりした内容の要点を文章で書くことができる。 ◇◆身近な話題や社会的なトピックに関して読んだり聞いたりした内容に対する意見や感想を基礎的な語彙を用いて書くことができる。

３ 学習評価（評価の観点と実施方法）

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	・コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	・外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
1 学期	Lesson 1 “Friendships in the Digital Age” Lesson 2 “Expos: Past, Present, and Future”	聞くこと	a:日常的な事柄で、考え、意見、理由・原因を伝える表現を理解している。 b:日常的な話題（デジタル時代における友達付き合い、万博とその開催意義）について、必要な情報を聞き取っている。 c:日常的な話題（デジタル時代における友達付き合い、万博とその開催意義）について、様々な情報を聞き取ろうとしている。	定期考査 (Listening)
		読むこと	a:英語の文型、時制の使い方を理解している。 b:身近なトピック（デジタル時代における友達付き合い、万博とその開催意義）についての英文を読んで概要を捉えている。 c:身近なトピック（デジタル時代における友達付き合い、万博とその開催意義）についての英文を読んで概要を捉えようとしている。	定期考査 (Reading)
		話すこと （発表）	a:英語の文型、時制の使い方を理解している。 b:身近なトピック（デジタル時代における友達付き合い、万博とその開催意義）について、英語の文型、時制を意識して話している。 c:身近なトピック（デジタル時代における友達付き合い、万博とその開催意義）について、英語の文型、時制を意識して主体的に話そうとしている。	Pair Work (Speaking)
		書くこと	a:英語の文型、時制の使い方を理解している。 b:身近なトピック（友人関係、携帯電話など）について、英語の文型、時制を意識して書いている。 c:身近なトピック（友人関係、携帯電話など）について、英語の文型、時制を意識して書こうとしている。	課題 (Writing)
	中間考査			
	Lesson 3 “The Fascinating World of a Professional Storyteller” Lesson 4 “Changing Behavior in Unique Ways”	聞くこと	a: 日常的な事柄で、確信、長所・短所を伝える表現を理解している。 b:身近なトピック（Story Teller, Social Design）について、概要や要点を聞き取っている。 c: 身近なトピック（Story Teller, Social Design）について、概要や要点を聞き取ろうとしている。	定期考査 (Listening)
		読むこと	a: 英語の文型、助動詞の働き・使い方を理解している。 b: 身近なトピック（Story Teller, Social Design）について、話者の意図や要点を捉えている。 c: 身近なトピック（Story Teller, Social Design）について、話者の意図や要点を捉えようとしている。	定期考査 (Reading)
		話すこと （やり取り）	a: 聞き直したり、相づちを打ったり、話を続けることができる。 b: 身近なトピック（Story Teller, Social Design）について、簡単な語句や文を用いて伝え合っている。 c: 身近なトピック（Story Teller, Social Design）について、簡単な語句や文を用いて伝え合おうとしている。	Performance Test (Speaking)
		書くこと	a: 英語の文型、助動詞の働き・使い方を理解している。 b: 身近なトピック（Story Teller, Social Design）について、まとまりのある文を書いている。 c: 身近なトピック（Story Teller, Social Design）について、まとまりのある文を書こうとしている。	課題 (Writing)
	期末考査			
2 学期	Lesson 5 “A Journey to Peace” Lesson 6 “Humans Evolve with Measurements”	聞くこと	a: 日常的な事柄で、推測、妥当性を伝える表現を理解している。 b: 身近なトピック（実在の人物、測るということ）について、絵や手がかりなどがあれば聞き取ることができる。 c: 身近なトピック（実在の人物、測るということ）について、絵や手がかりなどをもとに聞き取ろうとしている。	定期考査 (Listening)
		読むこと	a: 知覚動詞、関係代名詞の働き・使い方を理解している。 b: 身近なトピック（実在の人物、測るということ）について、概要や要点を文脈に沿って読み取ることができる。 c: 身近なトピック（実在の人物、測るということ）について、概要や要点を文脈に沿って読み取ろうとしている。	定期考査 (Reading)
		話すこと （発表）	a: 英語の文型、知覚動詞、関係代名詞の働き・使い方を理解している。 b: 身近なトピック（実在の人物、測るということ）について、例を示しながら話をすることができる。 c: 身近なトピック（実在の人物、測るということ）について、例を示しながら話そうとしている。	Pair Work (Speaking)

※令和４年度以降入学生用

		書くこと	a: 英語の文型、知覚動詞、関係代名詞の働き・使い方を理解している。 b: 身近なトピック（実在の人物、測るということ）について、つなぎの言葉を使いながら、まとまりのある文を書いている。 c: 身近なトピック（実在の人物、測るということ）について、つなぎの言葉を使いながら、まとまりのある文を書こうとしている。	課題 (Writing)
	中間考査			
	Lesson 7 “Bio-logging: Discovering Animals’ Secrets” Lesson 8 “What to Do with Too Many Tourists”	聞くこと	a: 日常的な事柄で、例を示したり、方法・解決策を伝える表現を理解している。 b: 身近なトピックなど（野生動物、オーバーツーリズム）について、概要や要点を聞き取っている。 c: 身近なトピックなど（野生動物、オーバーツーリズム）について、概要や要点を聞き取ろうとしている。	定期考査 (Listening)
		読むこと	a: 関係詞、仮定法の働き・使い方を理解している。 b: 身近なトピックなど（野生動物、オーバーツーリズム）について、概要や要点を論理的に読み取ることができる。 c: 身近なトピックなど（野生動物、オーバーツーリズム）について、概要や要点を論理的に読み取ろうとしている。	定期考査 (Reading)
		話すこと （やり取り）	a: 関係詞、仮定法の働き・使い方を理解している。 b: 身近なトピックなど（野生動物、オーバーツーリズム）について、簡単な語句や文を用いて、自分の意見を伝えあっている。 c: 身近なトピックなど（野生動物、オーバーツーリズム）について、簡単な語句や文を用いて、自分の意見を伝え合おうとしている。	Performance Test (Speaking)
		書くこと	a: 関係詞、仮定法の働き・使い方を理解している。 b: 身近なトピックなど（野生動物、オーバーツーリズム）について、これまで学んだ文法事項を使って、まとまりのある文を書いている。 c: 身近なトピックなど（野生動物、オーバーツーリズム）について、これまで学んだ文法事項を使って、まとまりのある文を書こうとしている。	課題 (Writing)
	期末考査			
3 学期	Lesson 9 “Surviving in the information Age” Lesson 10 “The Spirit of Zen: Less is More”	聞くこと	a: 広告のグラフにおける数字の見せ方や禅のイメージについて事実や自分の考えを整理して聞き取る技能を身につけている。 b: 身近なトピックや社会的なトピックなど（正しい情報の見極め方、マインドフルネス）について、概要や要点を論理的に整理しながら聞き取っている。 c: 身近なトピックや社会的なトピックなど（正しい情報の見極め方、マインドフルネス）について、概要や要点を論理的に整理しながら聞き取ろうとしている。	定期考査 (Listening)
		読むこと	a: 広告のグラフにおける数字の見せ方や禅のイメージについて事実や自分の考えを整理して読み取る技能を身につけている。 b: 身近なトピックや社会的なトピックなど（正しい情報の見極め方、マインドフルネス）について、概要や要点を論理的に読み取り整理することができる。 c: 身近なトピックや社会的なトピックなど（正しい情報の見極め方、マインドフルネス）について、概要や要点を論理的に読み取り整理しようとしている。	定期考査 (Reading)
		話すこと （やり取り）	a: 広告のグラフにおける数字の見せ方や禅のイメージについて事実や自分の考えを整理して伝える技能を身につけている。 b: 身近なトピックや社会的なトピックなど（正しい情報の見極め方、マインドフルネス）について、適切な語句や文を用いて、自分の意見を伝えあっている。 c: 身近なトピックや社会的なトピックなど（正しい情報の見極め方、マインドフルネス）について、適切な語句や文を用いて、自分の意見を伝えあおうとしている。	Performance Test (Speaking)
		書くこと	a: 広告のグラフにおける数字の見せ方や禅のイメージについて事実や自分の考えを整理して伝える技能を身につけている。 b: 身近なトピックや社会的なトピックなど（正しい情報の見極め方、マインドフルネス）について、これまで学んだ文法事項使って、まとまりのある文章を書いている。 c: 身近なトピックや社会的なトピックなど（正しい情報の見極め方、マインドフルネス）について、これまで学んだ文法事項使って、まとまりのある文章を書こうとしている。	課題 (Writing)
	学年末考査			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度